

事業の背景・目的

名護市では、特定外来生物であるフィリマングースや台湾ハブが定着し、台湾スジオやグリーンアノールなどの目撃もあることから、その対策が急務となっている。特に、フィリマングースに関しては、国指定鳥獣保護区に指定されている名護市屋我地島内には定着が確認されていないが、市民から島内におけるフィリマングースの目撃情報もあることから、屋我地島における防除対策の必要性は非常に高く、急務である。また、島民として侵略的外来種に対して取り組むべき課題を提起し、侵略的外来種フリーな島嶼モデルの提案を目指し、名護市屋我地島におけるマングース防除実施計画を策定する。

事業の内容

名護市屋我地島におけるマングース防除実施計画の策定

① マングース防除実施計画策定に向けた現状把握

非捕獲手法（ヘアトラップ・足跡トラップ・カメラトラップ）及び捕獲手法を用い、捕獲努力量約1,839TD、占有率45.1%～58.9%での生息調査を行った。

② マングース防除実施計画策定のための検討会開催、普及啓発の実施

有識者、地域住民、関係機関で構成された委員会を2回開催し、実施計画策定に必要な事項を検討した。

また、パンフレットの作成を行い、地域への普及啓発を行った。

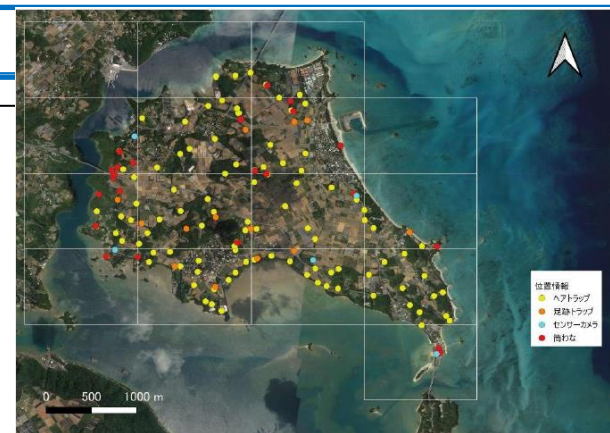


図 2.1 簡わな・トラップ位置

得られた成果

本事業における調査で、屋我地島（国指定鳥獣保護区）での生息が初めて確認された。

本事業の超結果を踏まえ、名護市屋我地島におけるマングース防除実施計画及びマングース防除パンフレットを策定し、侵略的外来種に対して取り組むべき課題を提起した。

次年度からは、防除実施計画に基づく防除及びその進捗管理、パンフレットを用いた周知を実施していく。



図 3.2 マングース捕獲位置